

# 海洋ごみの8割が 街からやってくる



海につながる山梨の河川でもプラスチック汚染が深刻になっています。海なしやまなし発!海ごみZEROプロジェクトは、行政・企業・民間団体などが連携してプラスチックごみの削減、紙のリサイクル、河川や街の清掃活動などを推進して循環型社会を目指します。



推進リーダー

神部 冬馬

(シンガーソングライター)



## 参加のご案内

海なしやまなし発!海ごみZEROプロジェクトは、山梨県内での清掃活動を応援しています。清掃場所は問いません。ごみ拾い活動を計画されている方は事務局までご連絡ください。

事務局: TEL.055-231-3249  
(山梨放送 ラジオセンター内)

海なしやまなし発!  
海ごみZEROプロジェクト

やまなし海ごみZERO

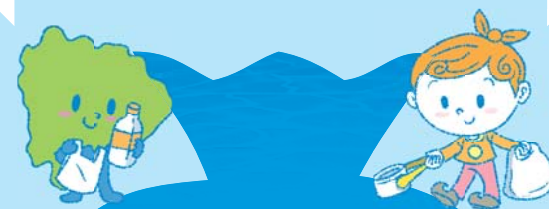
検索

制作協力・監修



山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト

E-mail yama-p\_info@yama-p.sunnyday.jp



海なしやまなし発!

# 海ごみ ZERO

プロジェクト

UMIGOMI ZERO PROJECT



# マイクロプラスチックって何?

What's Micro Plastic?

海に流れ出たプラスチックは、紫外線や波の力で砕けていきます。直径5mm以下の小さなプラスチックのごみをマイクロプラスチックと呼びます。プラスチックはいくら小さくても分解されなくなることはありません。有害物質が吸着し、そのマイクロプラスチックを動物プランクトンや魚がエサと間違えて食べ、生態系や人体への影響が懸念されています。



## ごみは川から海へ

海洋ごみの8割は、私たちの暮らす街から川を流れて運ばれます。特にプラスチックごみは自然界からなくなることはありません。

プラスチック製品がマイクロプラスチックになるまで



01

プラスチック製品の散乱

02

もろくなり、壊れて小さくなる

03

水路や川へ流れ出て海へ

04

魚などが食べる

生態系や人体への影響が懸念

## 私たちにできること



Action!

- 1 マイボトル、マイバッグを持参する
- 2 使い捨て容器・食器を使わない
- 3 ごみの分別をする
- 4 ごみのポイ捨てをしない
- 5 落ちているごみを拾う
- 6 ごみが散乱しない工夫をする